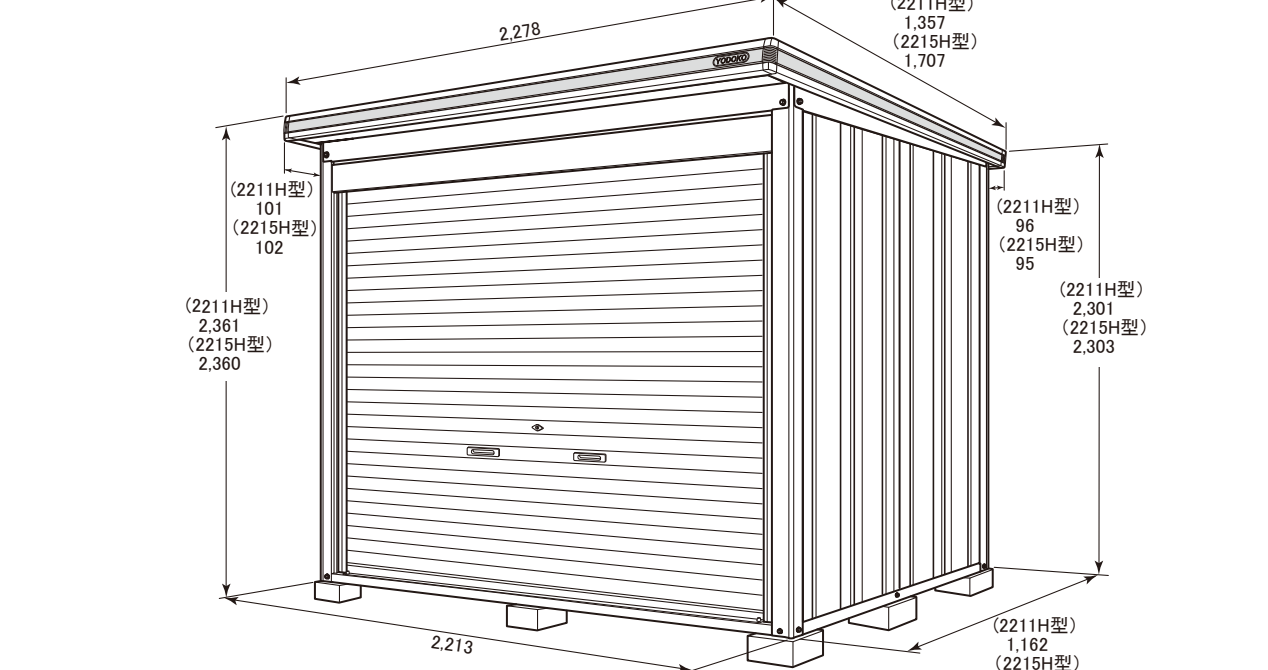


ヨド物置

エルモシャッター

単棟型〈床タイプ〉組立説明書 LOD(U)・2211HF型・2215HF型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。
※この組立説明書は2215の図で説明しています。2211の場合も組立手順は同じです。
よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者に依頼ください。)



●設置場所の制限
※鍵はシャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

- △注意
- 1.建物の屋上には設置しないでください。
 - 2.バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 3.大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 4.崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 5.給湯器の前には設置しないでください。

- 施工前の注意点
△注意
- 1.アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
 - 2.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれくれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
 - 3.重い部材・梱包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
 - 4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 5.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

梱包組合せ表			
機 種	2211 型	2215 型	
枠	部 品	LO5-0105	LO5-0105
	上枠前後	一般型	豪雪型
	下枠前後	LO5-0205	LO5-0205
	上枠左右	LO5-0225	LO5-0225
	下枠左右	LO5-0255	LO5-0255
柱	柱	LO5-0302	LO5-0303
	下枠左右	LM5-0352	LM5-0353
	柱	LO5-0411	LO5-0411
間柱	一般型	LO5-1467	LO5-1467
	豪雪型	LO5-1487	LO5-1488
	異種し	LM5-1105	LM5-1105
補強	一般型	LM5-0531	LM5-0531
	豪雪型	LO5-3531	LO5-3531

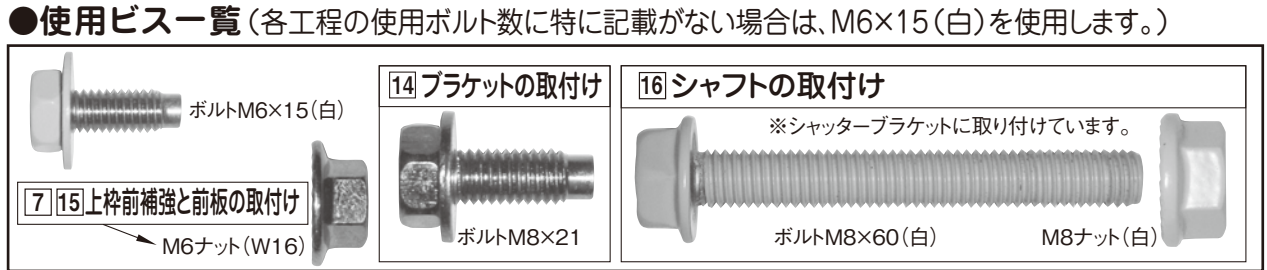
梱包内容表			
●部品	2211・2215	●下枠左右	2211
●LO5-0105		●補強	2211・2215
部材名	数量	部材名	数量
ボルト M6×15 (白)	170 (9)	ELD 下枠側 A1.5 左	1
ボルト M8×21	5 (1)	ELD 下枠側 A1.5 右	1
ナット M6-16 用	5 (1)		
ELD アンカープレート (L)	4	●LO5-0353	2215
ELD 間柱間隔し A	2	部材名	数量
ELD 間柱間隔し B	1	ELD 下枠側 A2.0 左	1
組立説明書	1	ELD 下枠側 A2.0 右	1
取扱説明書	1		
保証書 5 年	1	●柱	2211・2215
※()内は予備			
●上枠前後	2211・2215	●LO5-0411	2211・2215
●LO5-0205		部材名	数量
部材名	数量	LOD 柱前 YK 左	1
LOD 上枠前 A3.0	1	LOD 柱前 YK 右	1
ELD 上枠後 A3.0	1	ELD 柱後 H	2
		LOD 柱前補強カバー YK 左	1
		LOD 柱前補強カバー YK 右	1
		●屋根	2211・2215
●LO5-0225		部材名	数量
部材名	数量	LO5-1467	2211
LOD 上枠前 A3.0	1	部材名	数量
ELD 上枠後 A3.0	1	ELD 間柱側 中 1.5 H	2
ELD 下枠側 A3.0U	1	ELD 間柱側 H	2
		●LO5-1468	2215
●下枠前後	2211・2215	部材名	数量
●LO5-0255		LOD 間柱側 中 2.0 H	2
部材名	数量	ELD 間柱側 H	2
LOD 下枠側 YK A3.0	1	●LO5-1488	2211
ELD 下枠後 A3.0	1	部材名	数量
ELD 床押え A3.0	2	LOD 間柱側 U 中 1.5H	2
		ELD 間柱側 H	2
●上枠左右	2211	●LO5-1488	2215
●LM5-0302		部材名	数量
部材名	数量	LOD 間柱側 U 中 2.0H	2
ELD 上枠左 A1.5	1	ELD 間柱側 H	2
ELD 上枠右 A1.5	1	●異種し	2211・2215
		●LM5-1105	
●LM5-0303	2215	部材名	数量
部材名	数量	ELD 間柱側 前 A3.0	1
ELD 上枠左 A2.0	1	ELD 間柱側 後 A3.0	1
ELD 上枠右 A2.0	1		

○部材名称には A1.5, A2.0, A3.0 等の長さを示す記号がついた部材があります。
説明書文中では省略してあります。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

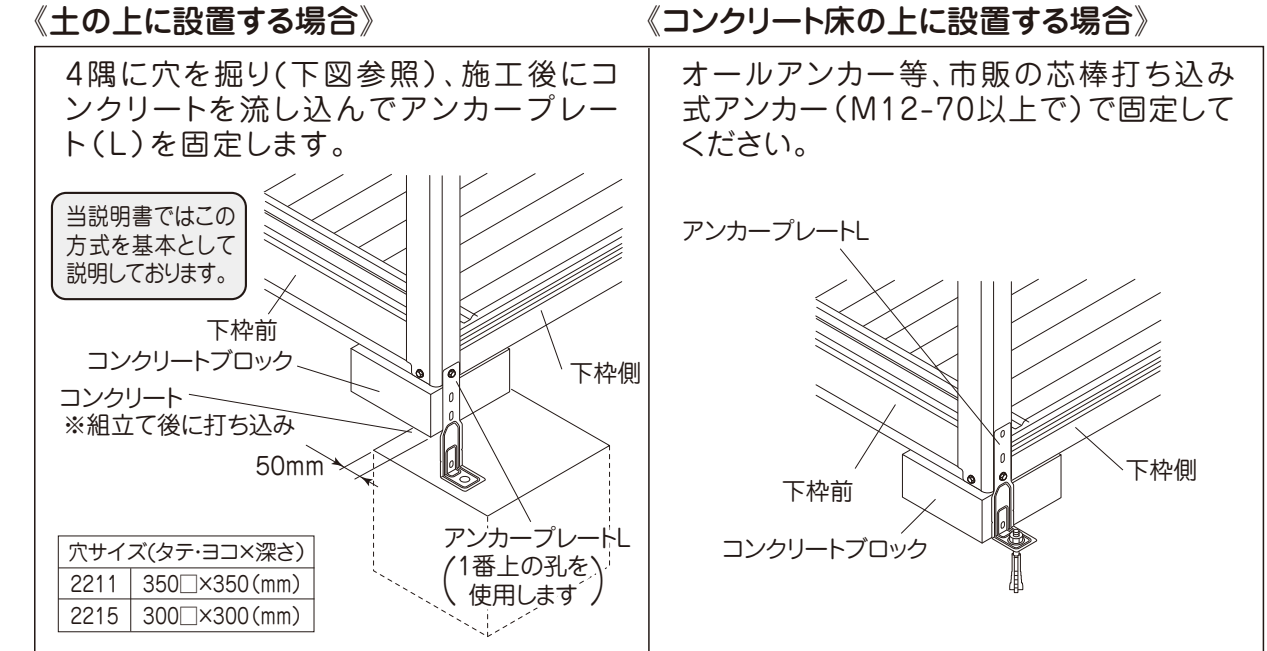
- 施工時の注意点
- 1.まず御注文通りの商品かどうかを梱包合せ表・梱包内容表にて確認してください。
 - 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
 - 3.部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取り付く部材を右、左側に取り付く部材を左とします。
※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
 - 4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を含めてください。
 - 5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
 - 6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくご確認の上、組立を行ってください。

- 基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)
- ・コンクリートブロック 個数は①基礎施工を参照ください。(幅190cm(39cm)×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
 - ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
 - ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上) 4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

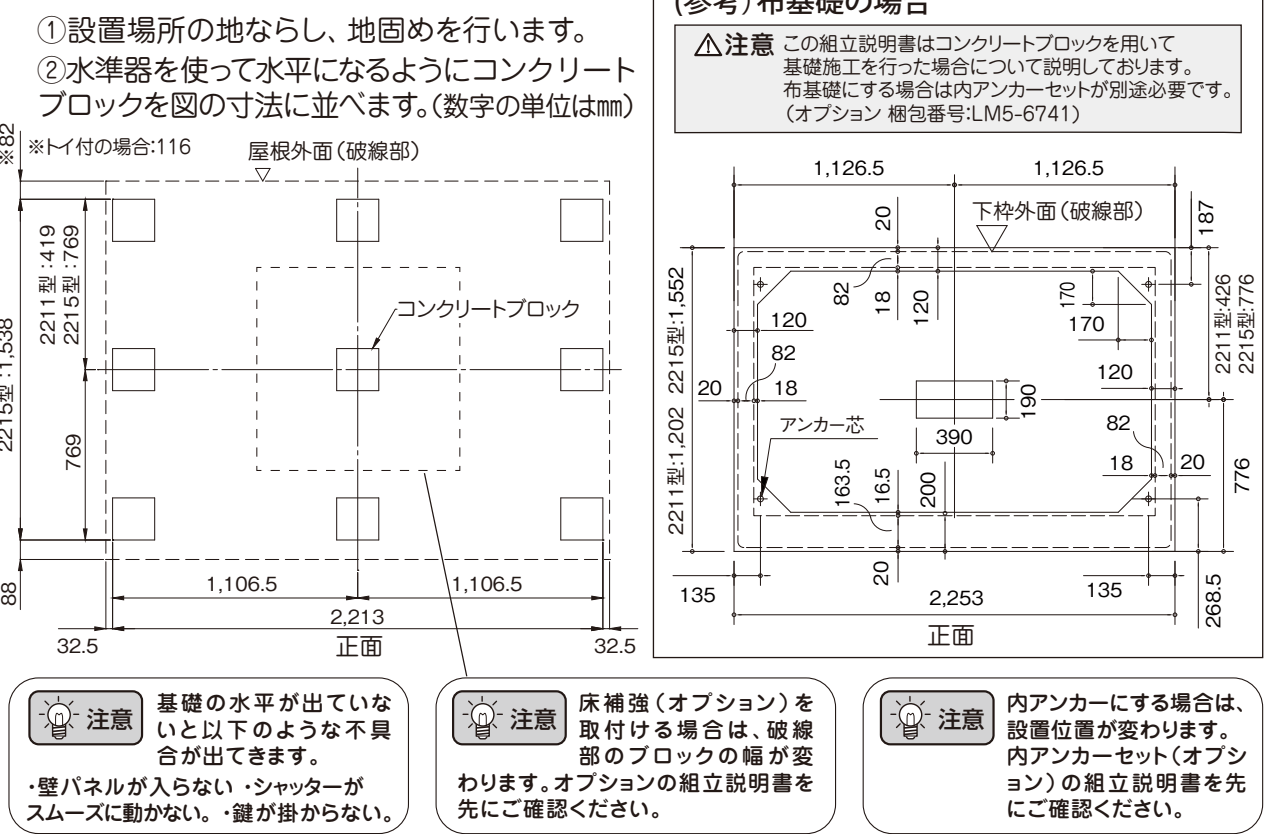
- 組立に必要なもの(事前にご準備ください。)
- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・M6・M8ボルト・アンカーボルトの締結用のスパナまたはモンキー、ペンチ等工具、サゲフリ



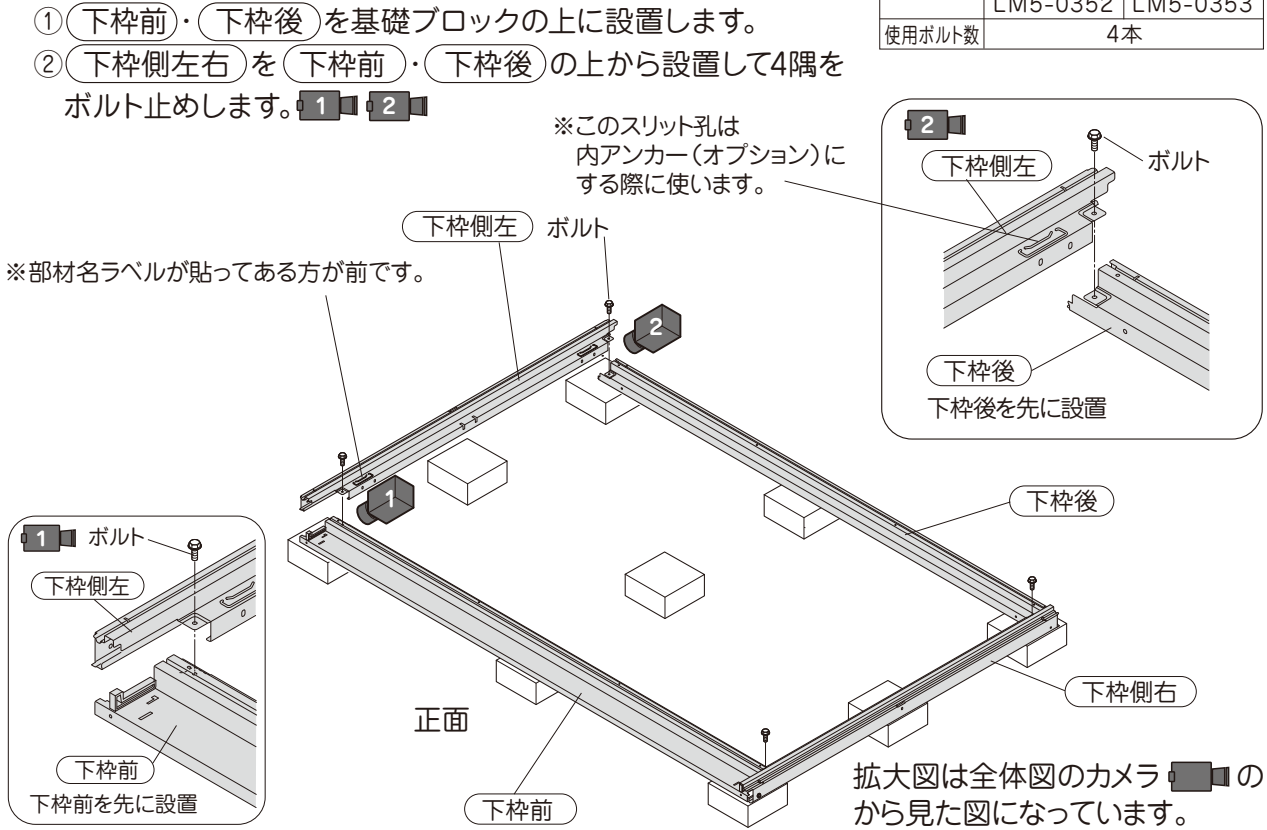
- アンカー工事について
- アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。
- △注意 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。



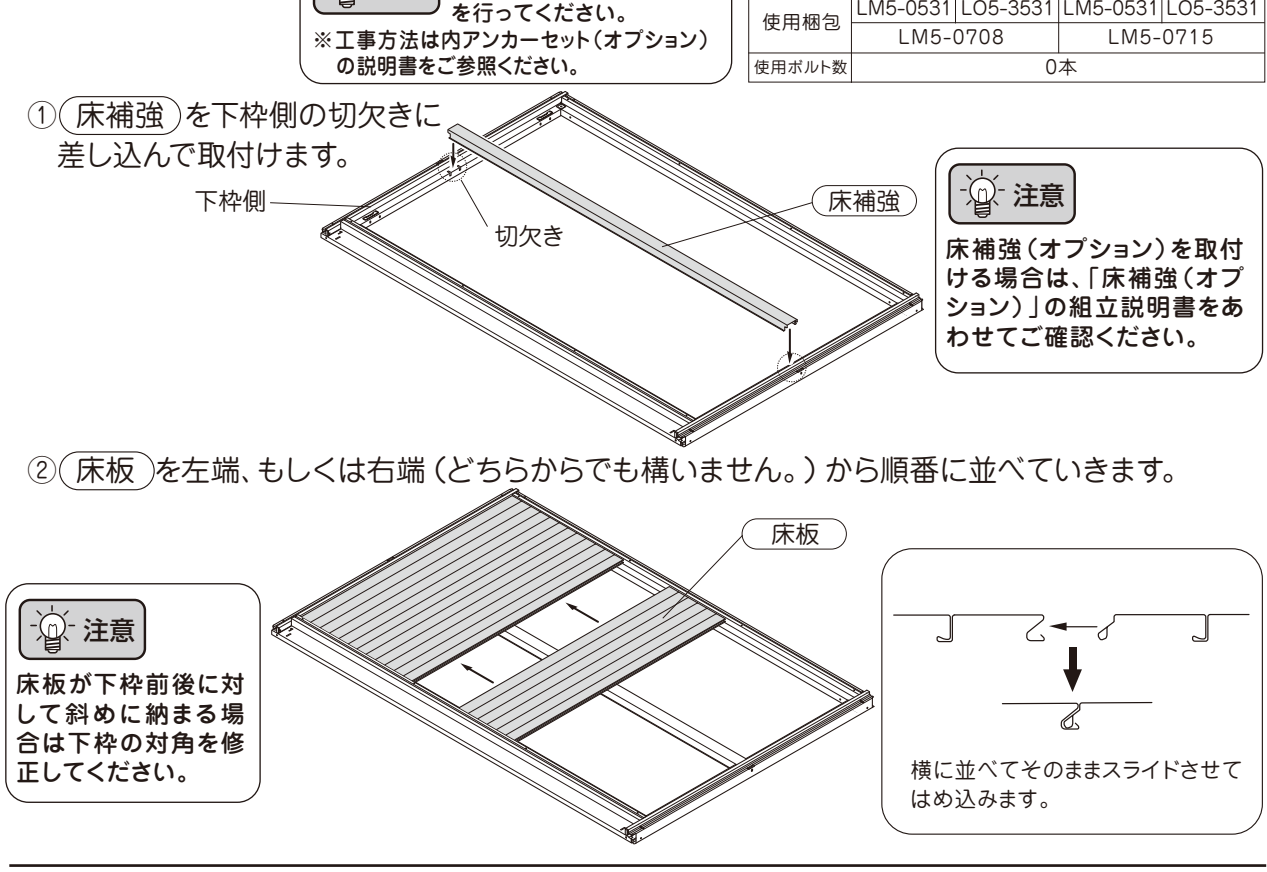
1 基礎施工



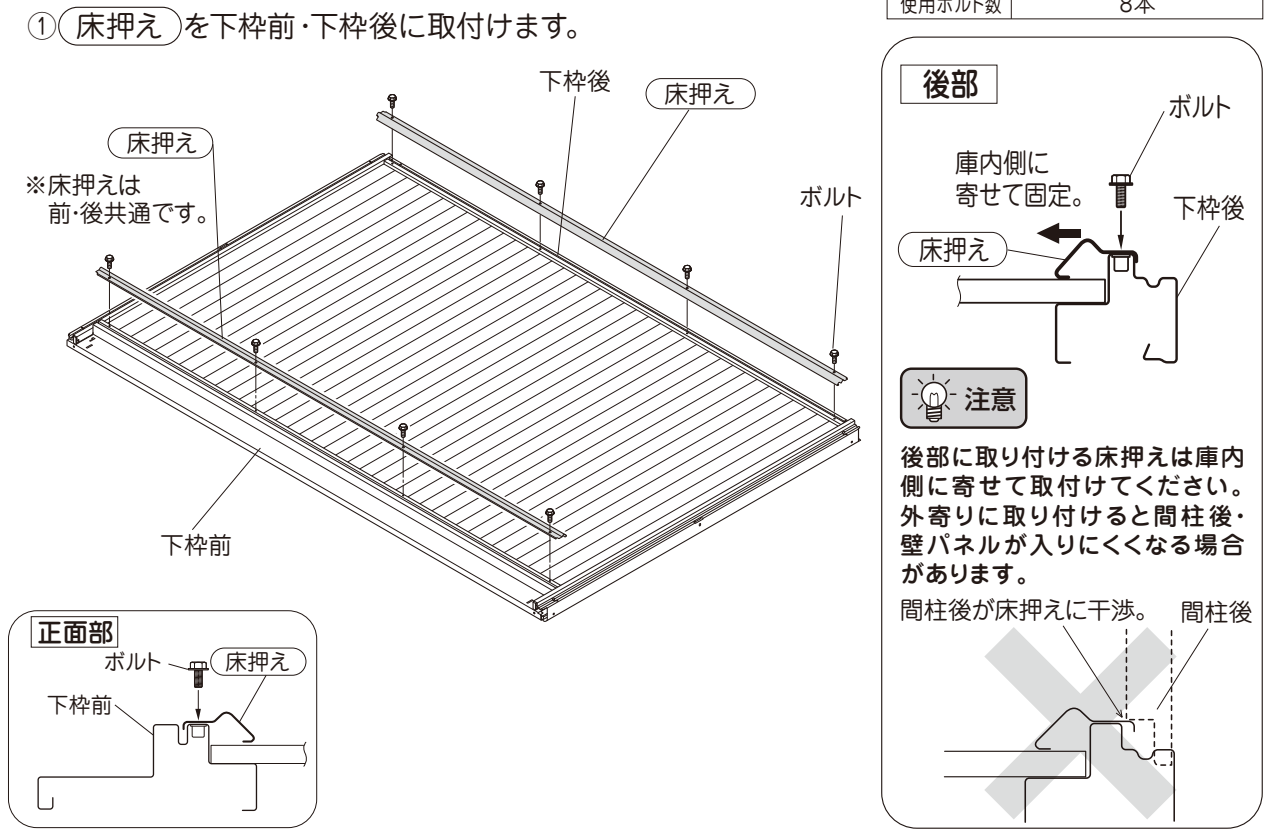
2 下枠の組立



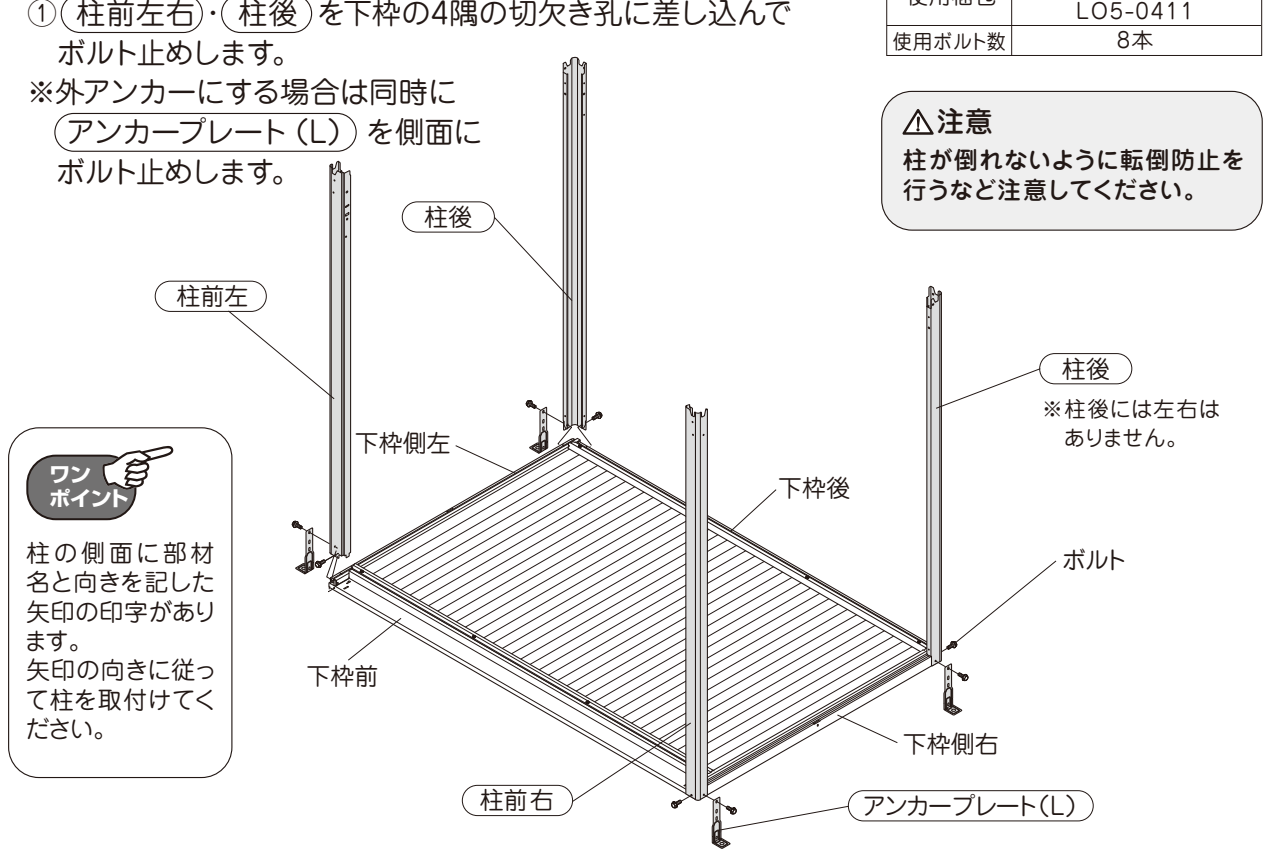
3 床の設置



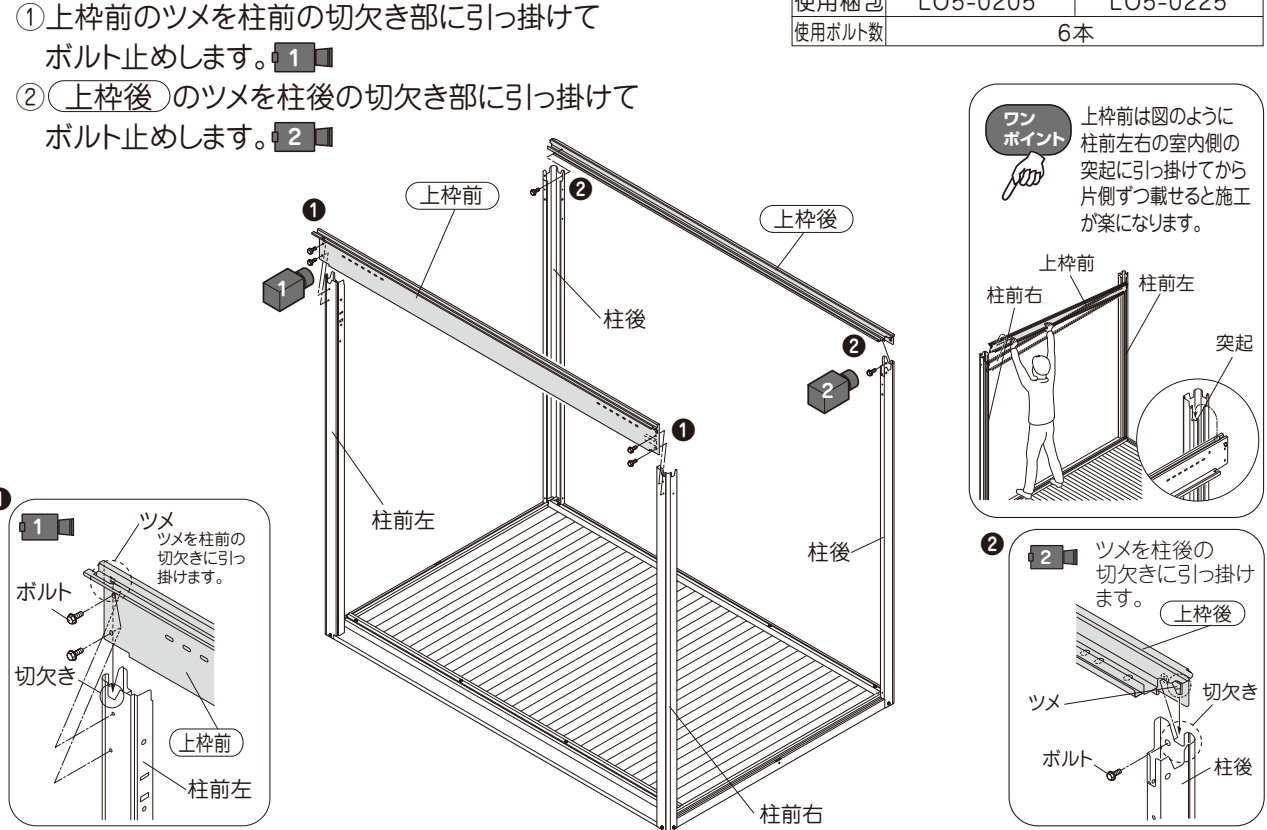
4 床押えの取付け



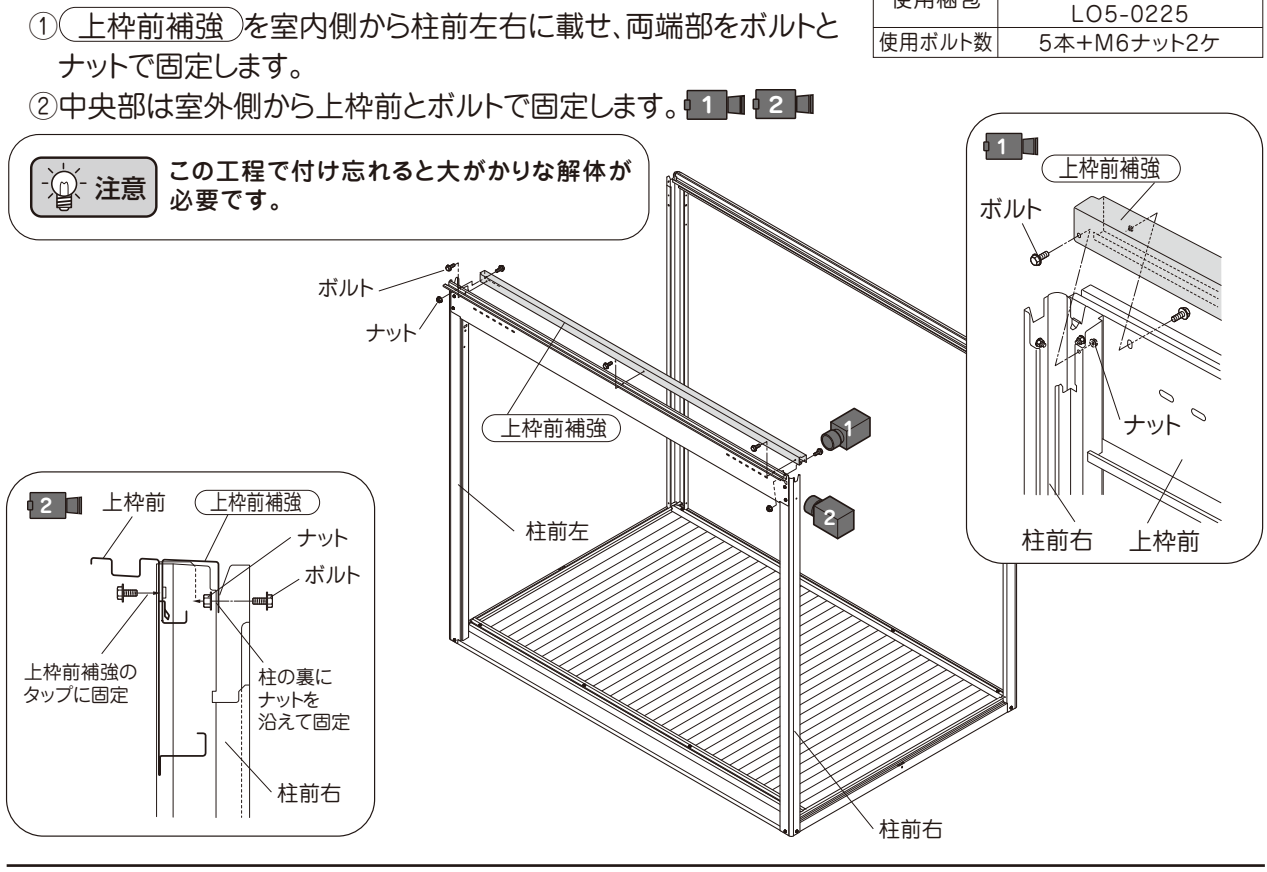
5 柱の取付け



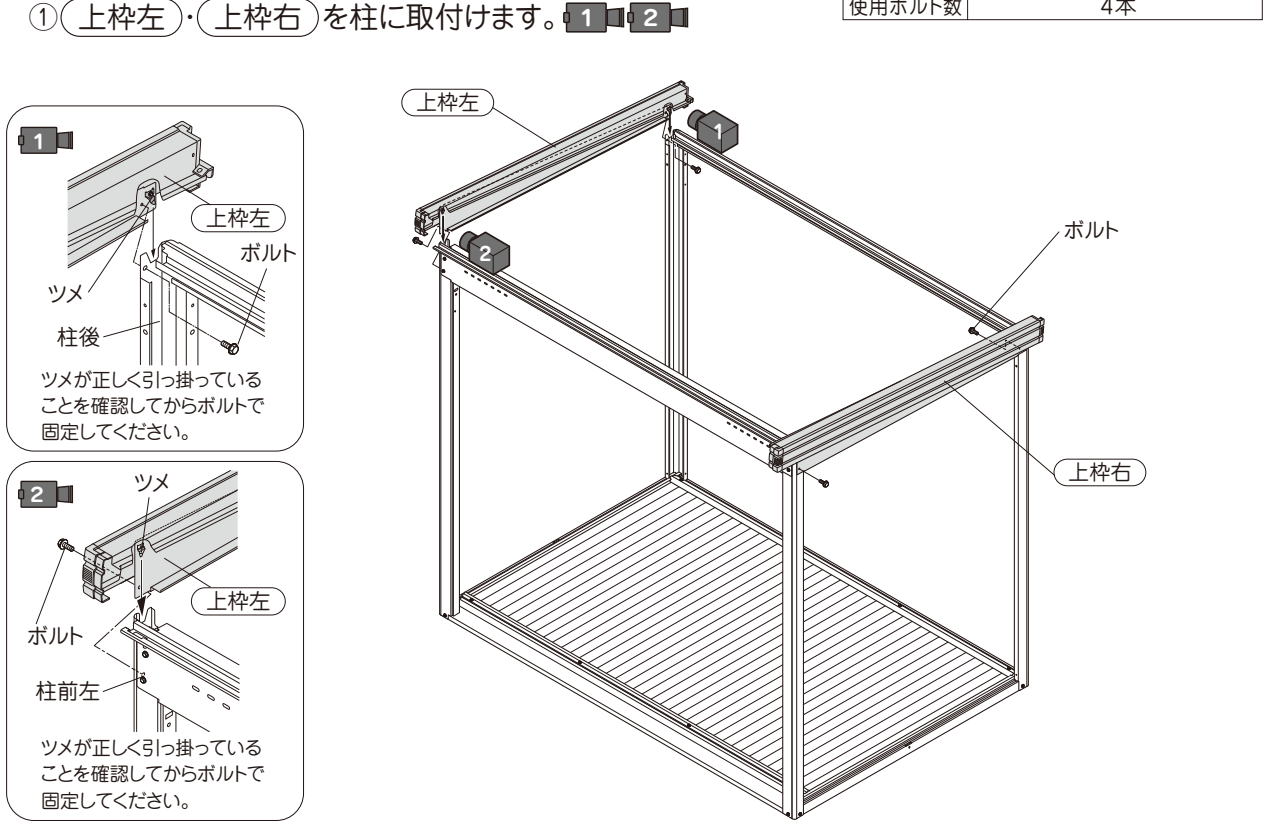
6 上枠前後の取付け



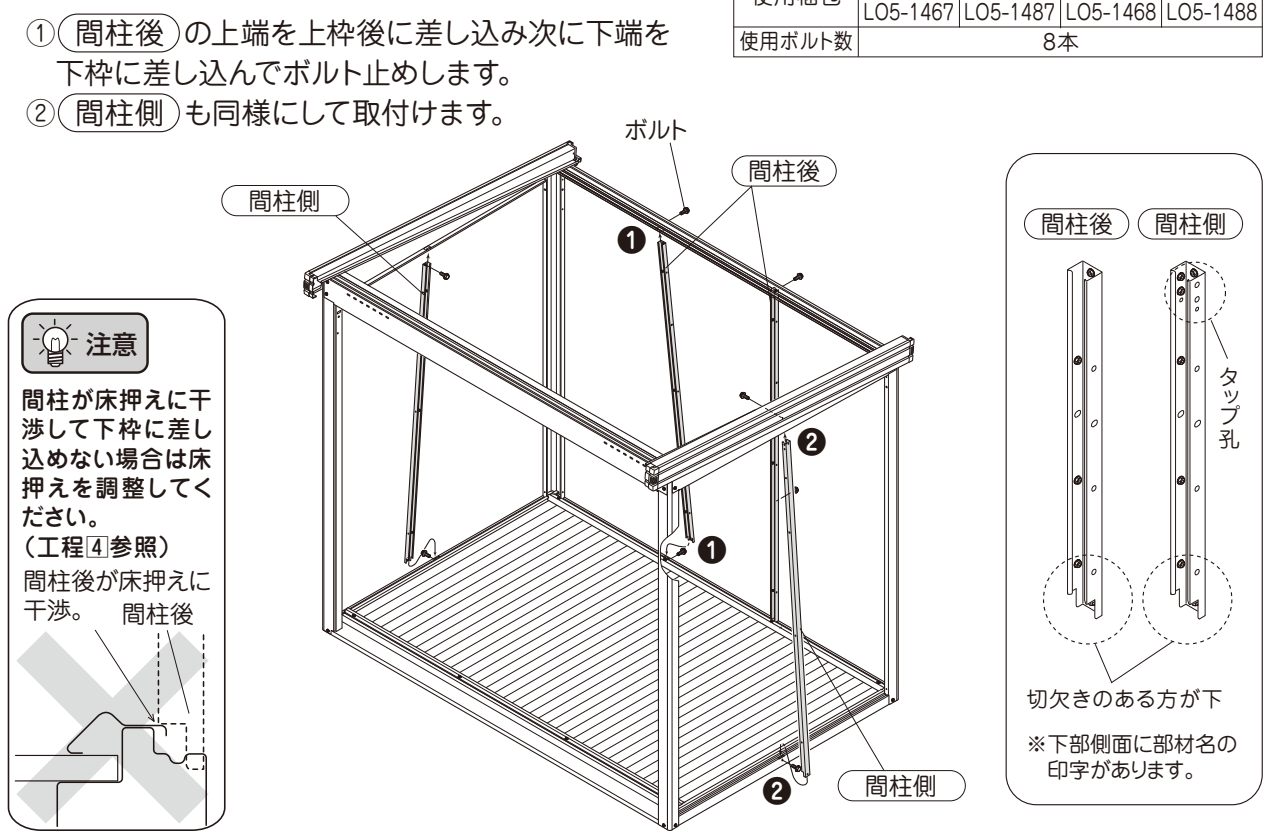
7 上枠前補強の取付け●豪雪型の場合



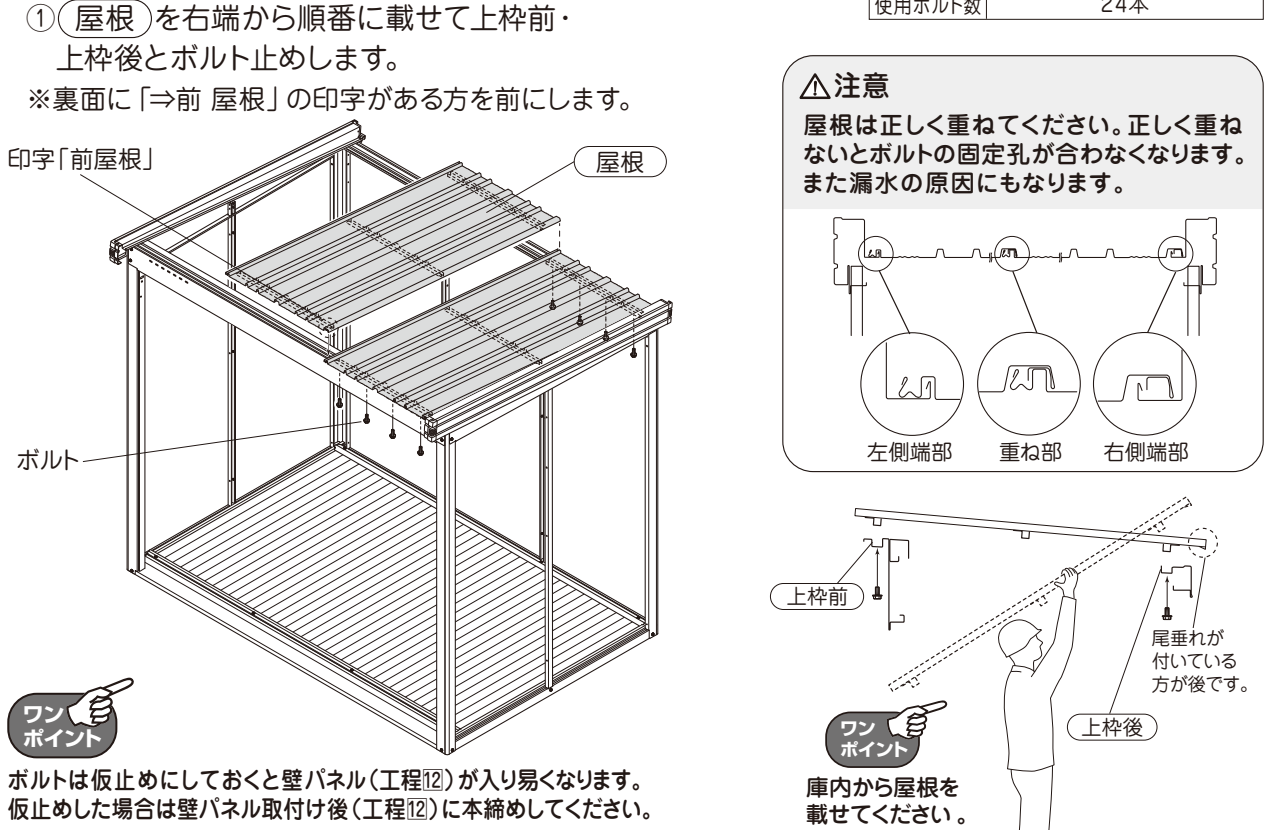
8 上枠左右の取付け



9 間柱側・後の取付け

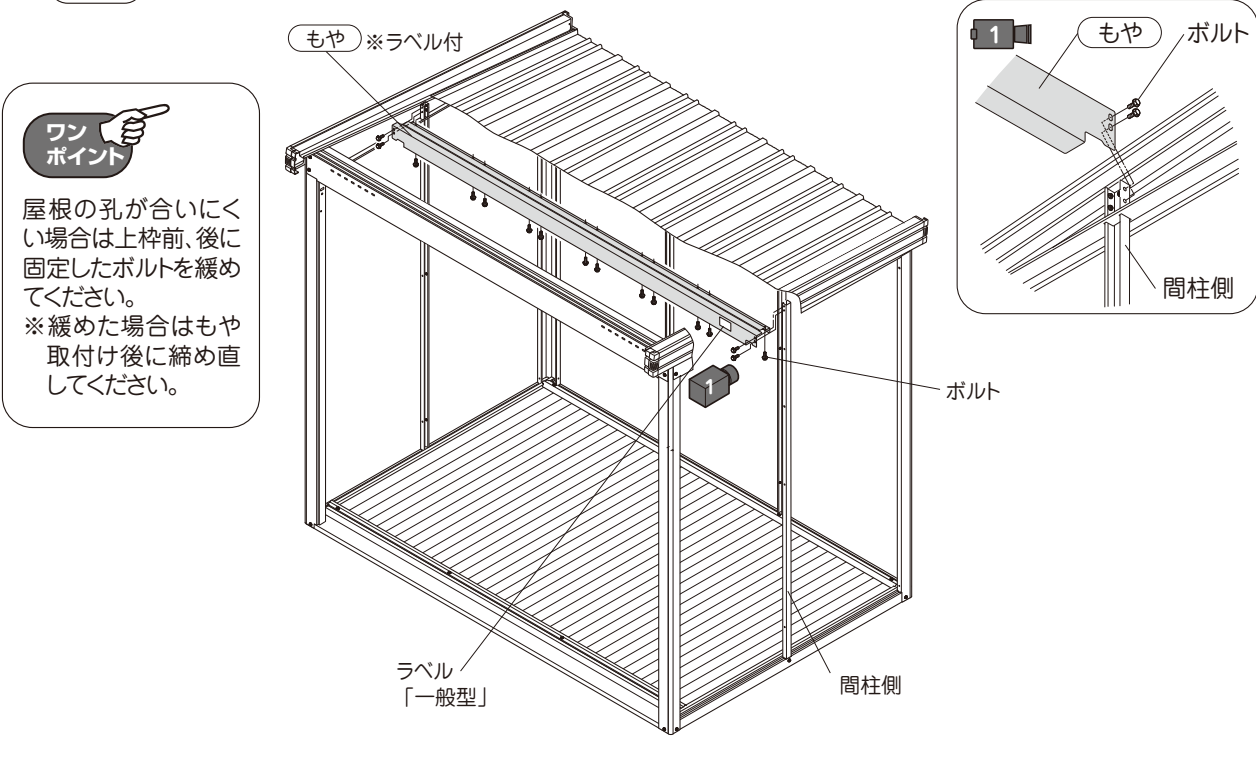


10 屋根の取付け



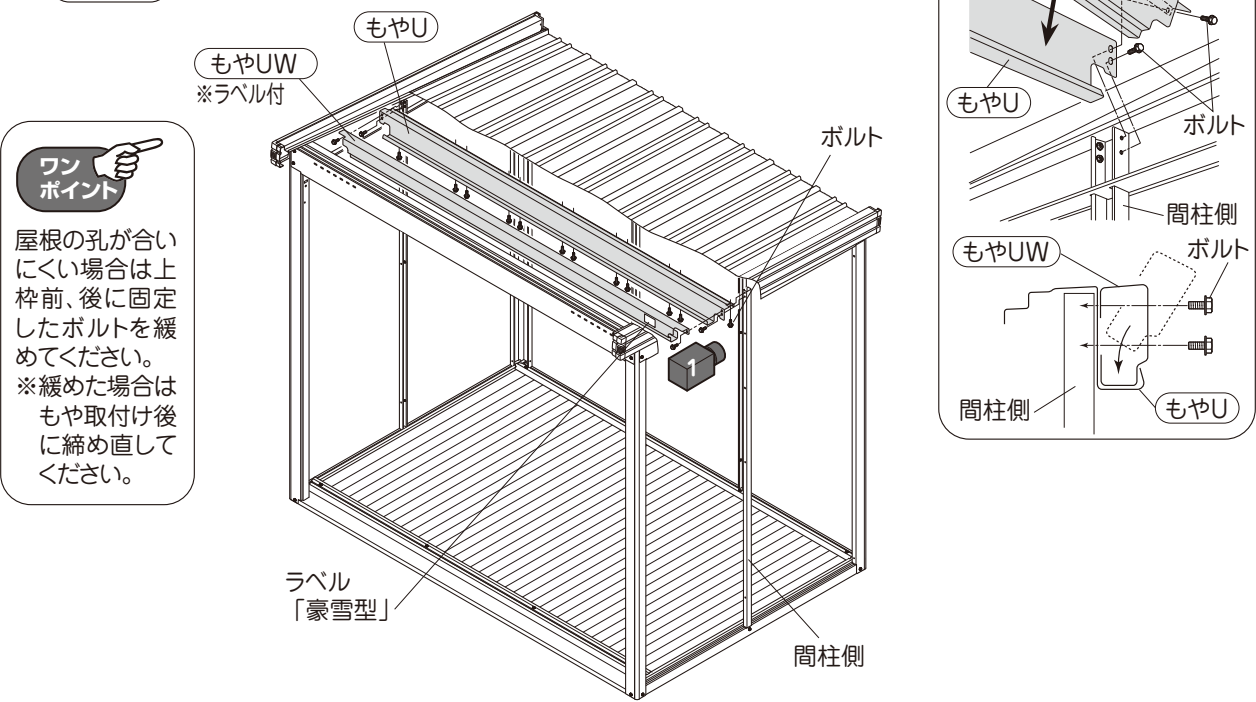
11-A もやの取付け●一般型の場合

- ① もや を正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**
- ② もや と屋根をボルト止めします。



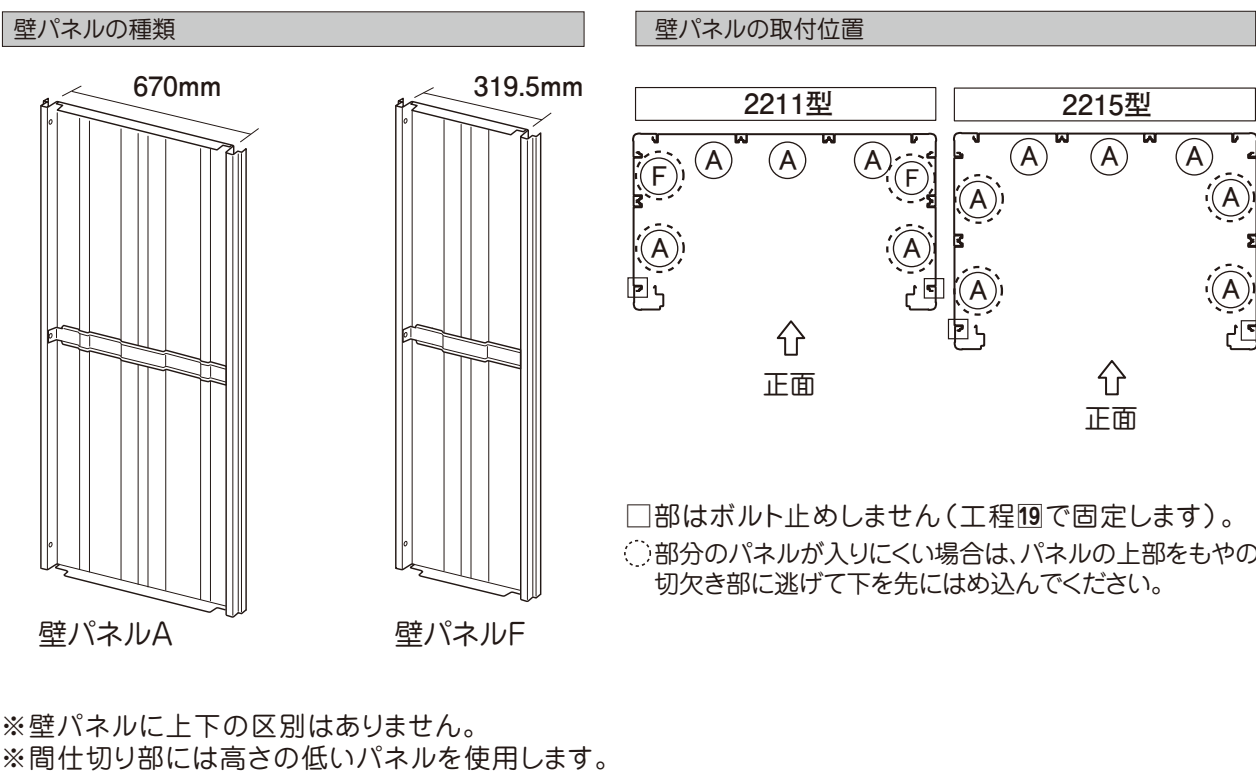
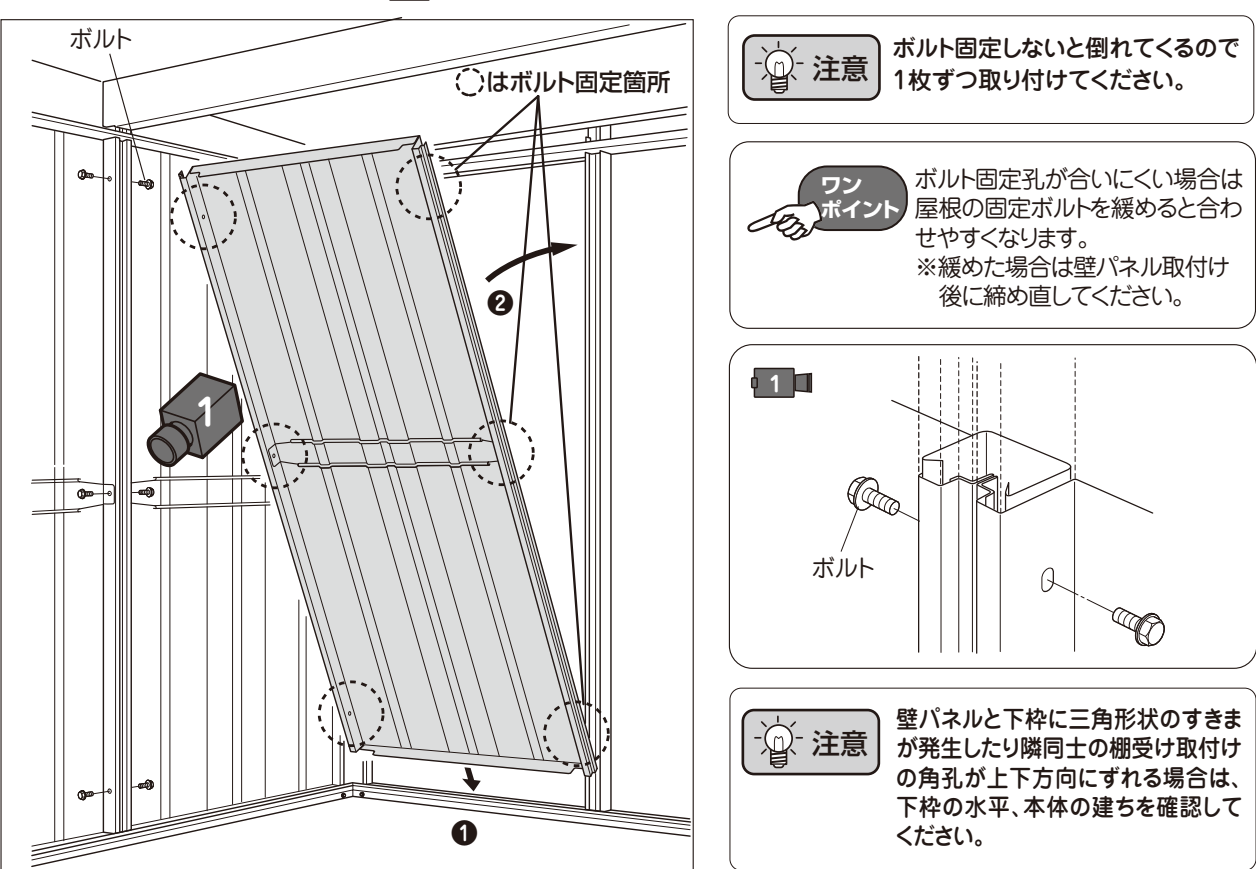
11-B もやの取付け●豪雪型の場合

- ① もやU を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
- ② 正面から (もやUW) を (もやU) に落としこみボルト止めします。**1**
- ③ もやU と屋根をボルト止めします。



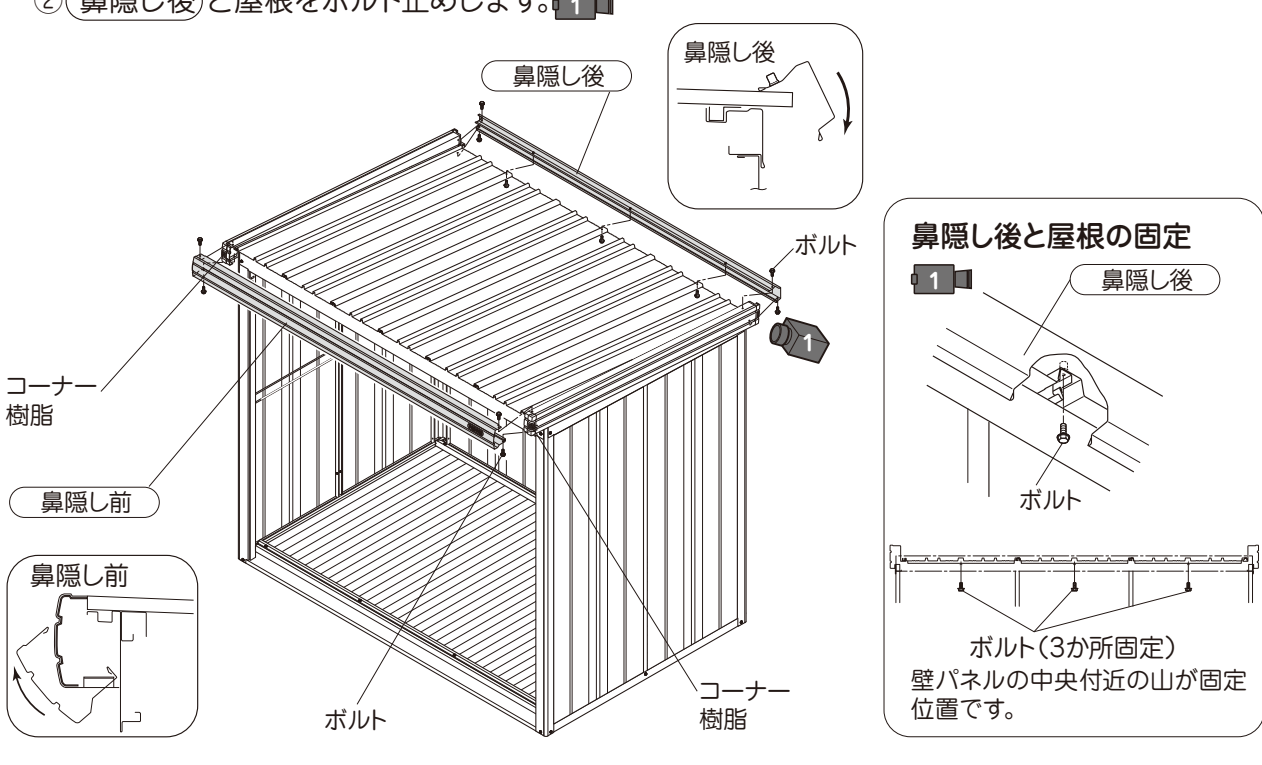
12 壁パネルの取付け

- ① 室内から (壁パネル) をはめ込みます。
(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ② 柱・間柱にボルト止めします。**1**



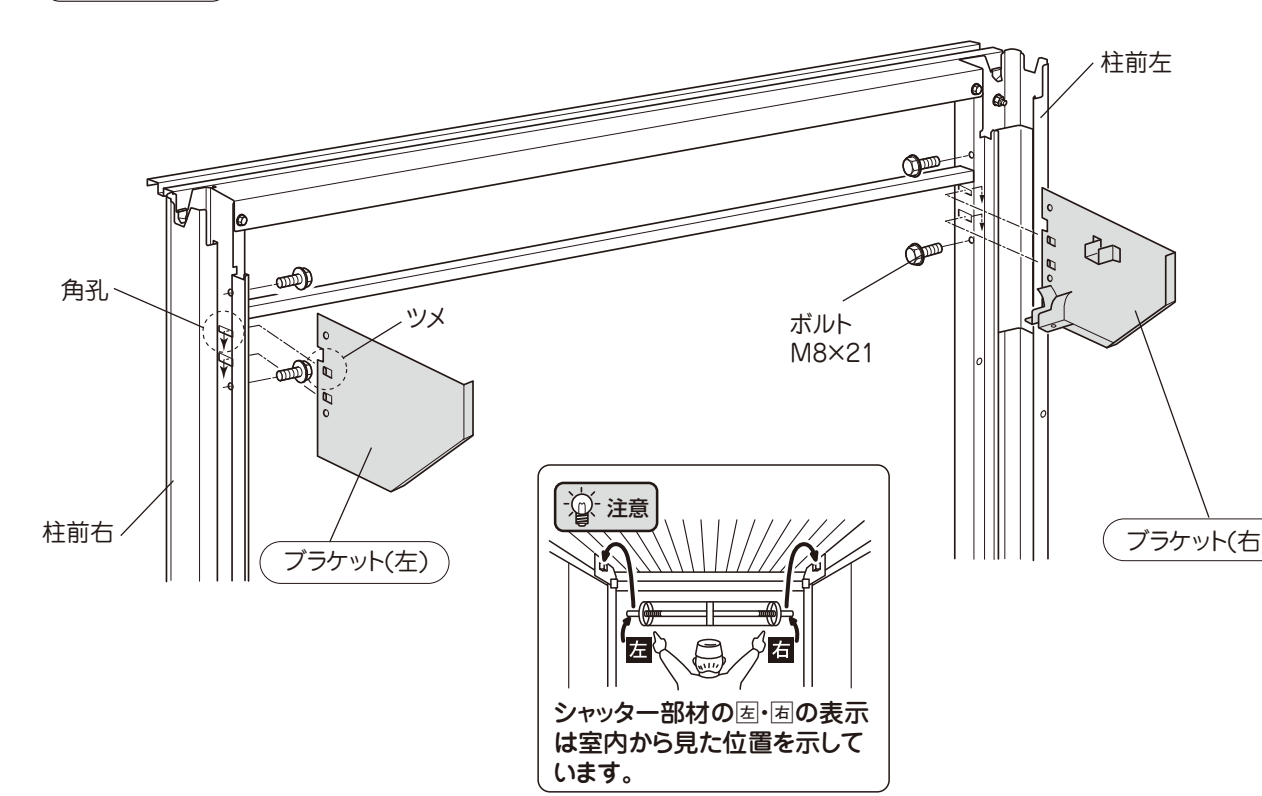
13 鼻隠しの取付け

- ① (鼻隠し前)・(鼻隠し後)を上枠左右のコーナー樹脂にかがせるようにして取付けてボルト止めします。
- ② (鼻隠し後)と屋根をボルト止めします。**1**



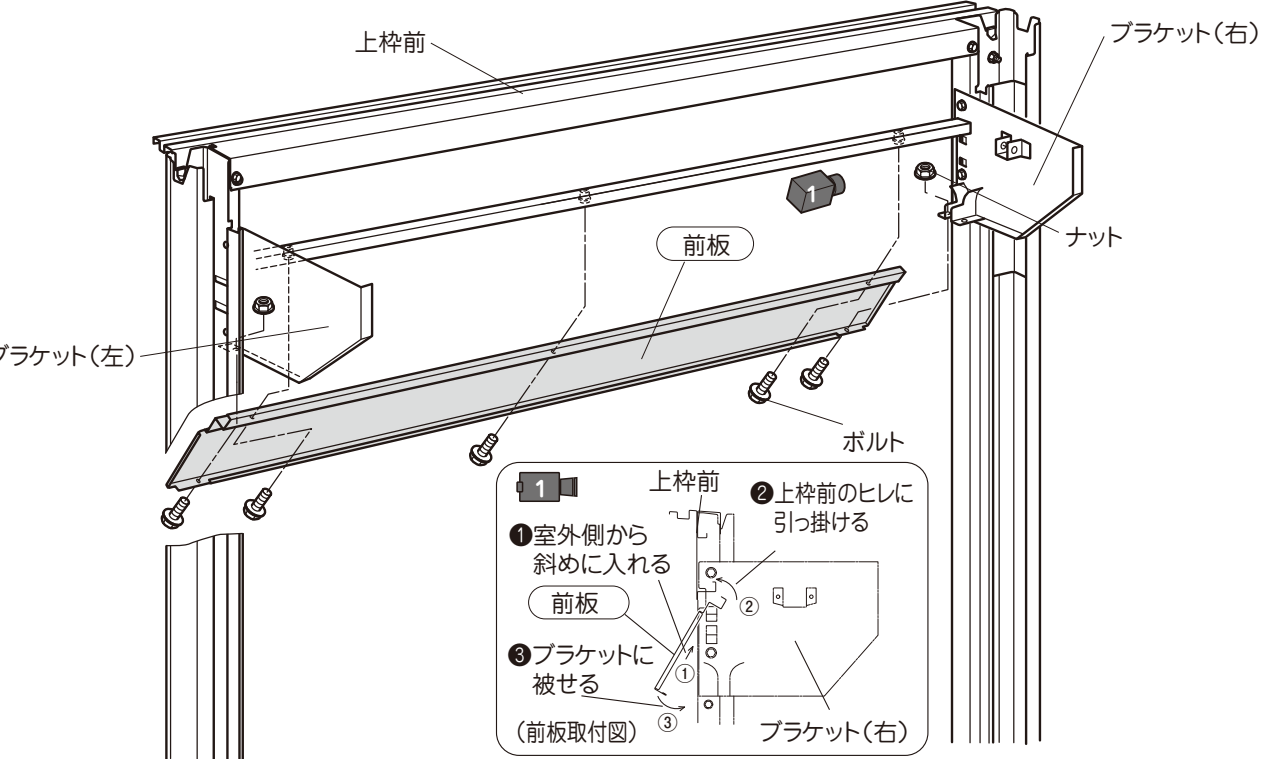
14 ブラケットの取付け

- ① (ブラケット左右)のツメを柱前左右の角孔部に引っ掛けてボルト止めします。



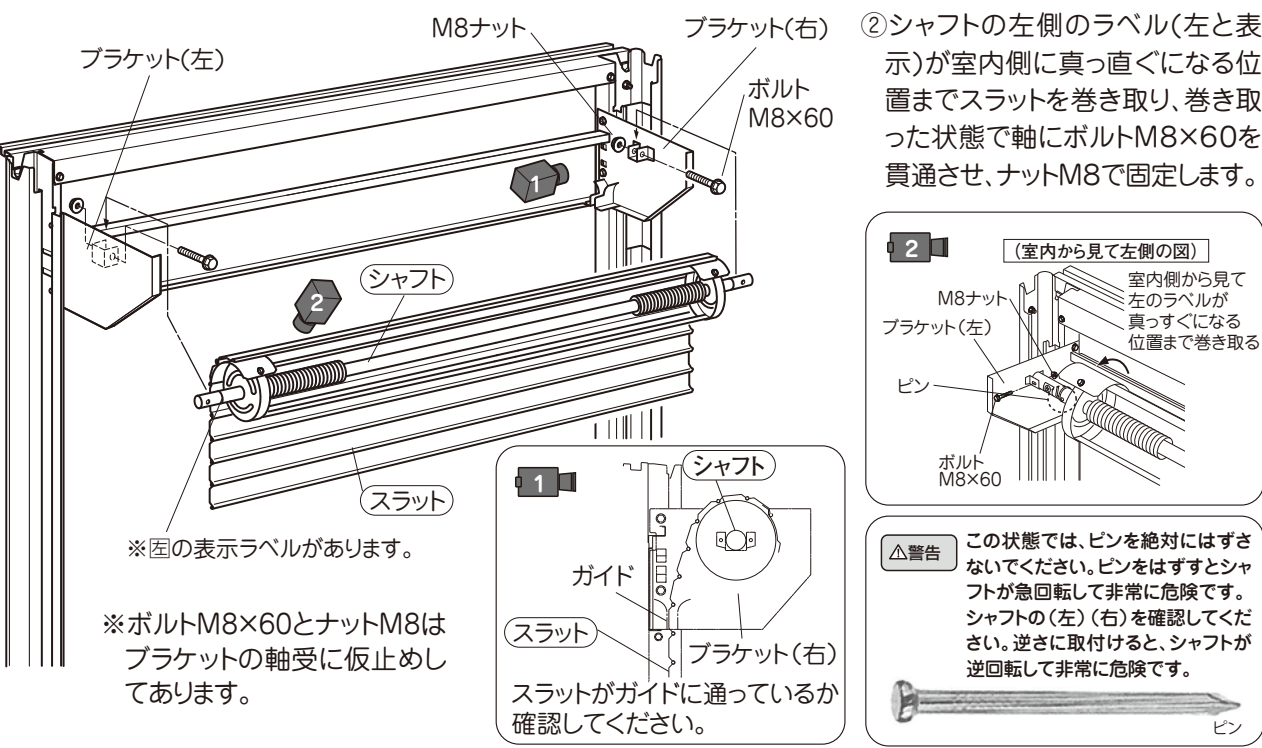
15 前板の取付け

- ① (前板)を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかがせてボルトとナットで固定します。**1**



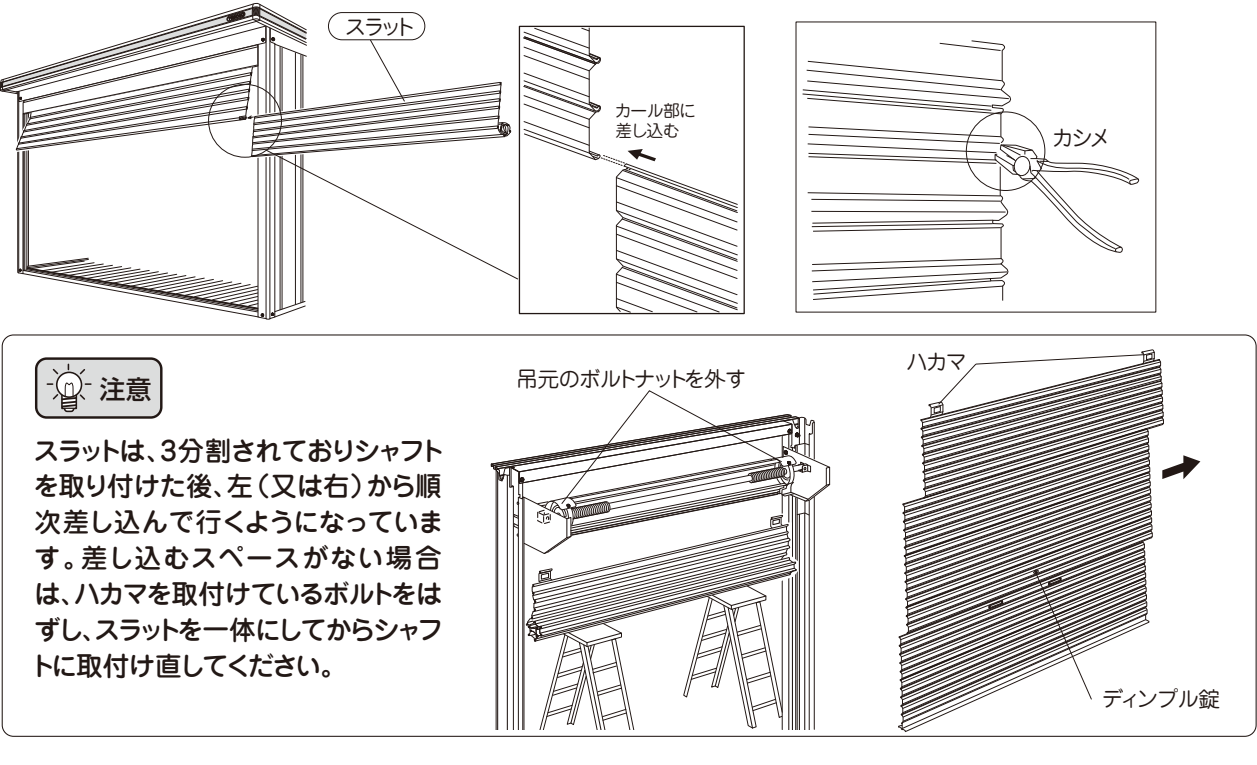
16 シャフトの取付け

- ① 室内側から (シャフト) を軸受に載せ、(スラット) をブラケットのガイドに通します。(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)

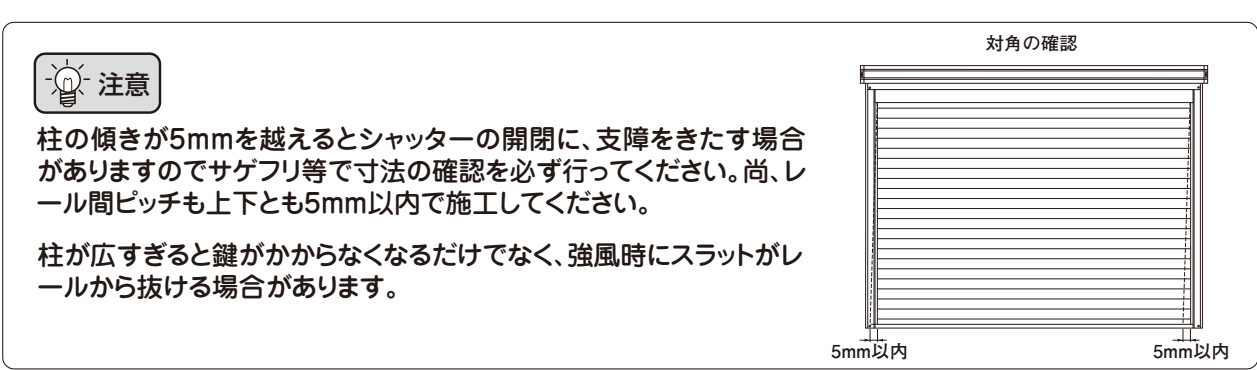


17 シャッタースラットの取付け

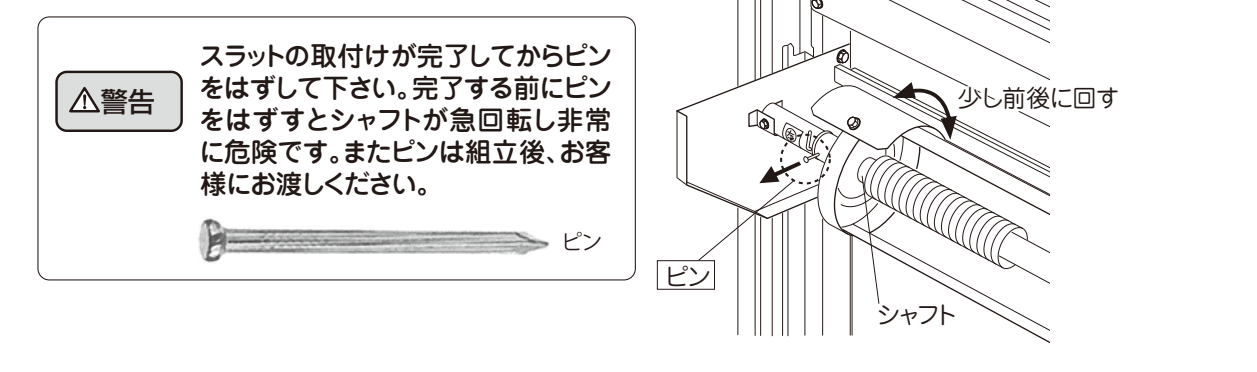
- ① 上から (外錠付スラット)→(水切り付スラット)の順に室外側から差し込み、縦ぎ目の両端をベンチ等でかきして固定します。



- ② スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。

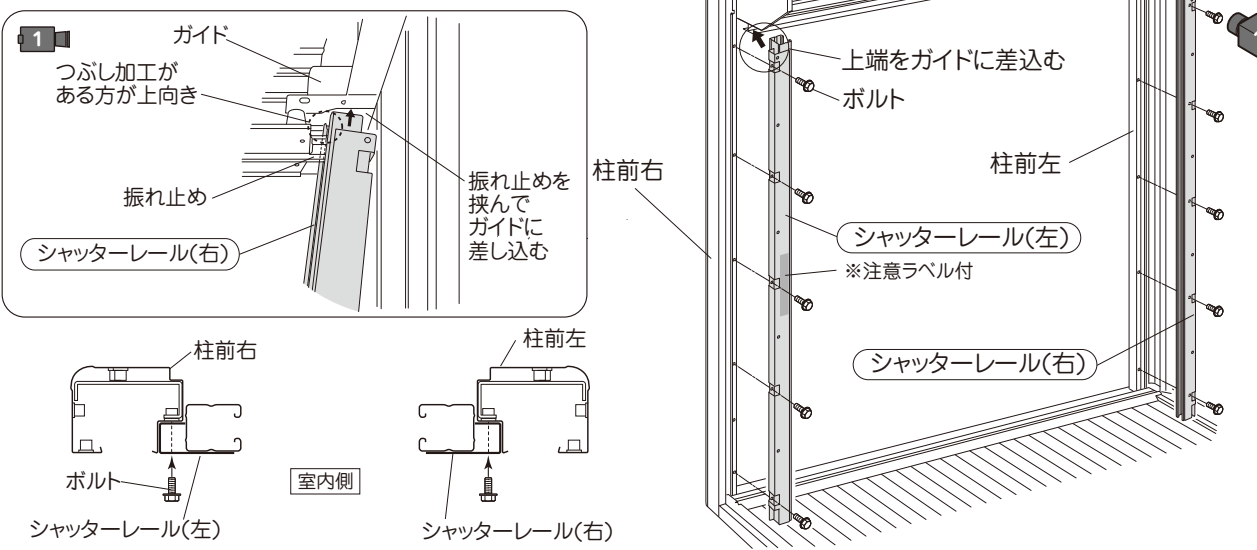


- ③ スラットをおろした状態でシャフトを少し回転させ、写真のピンを抜きとります。



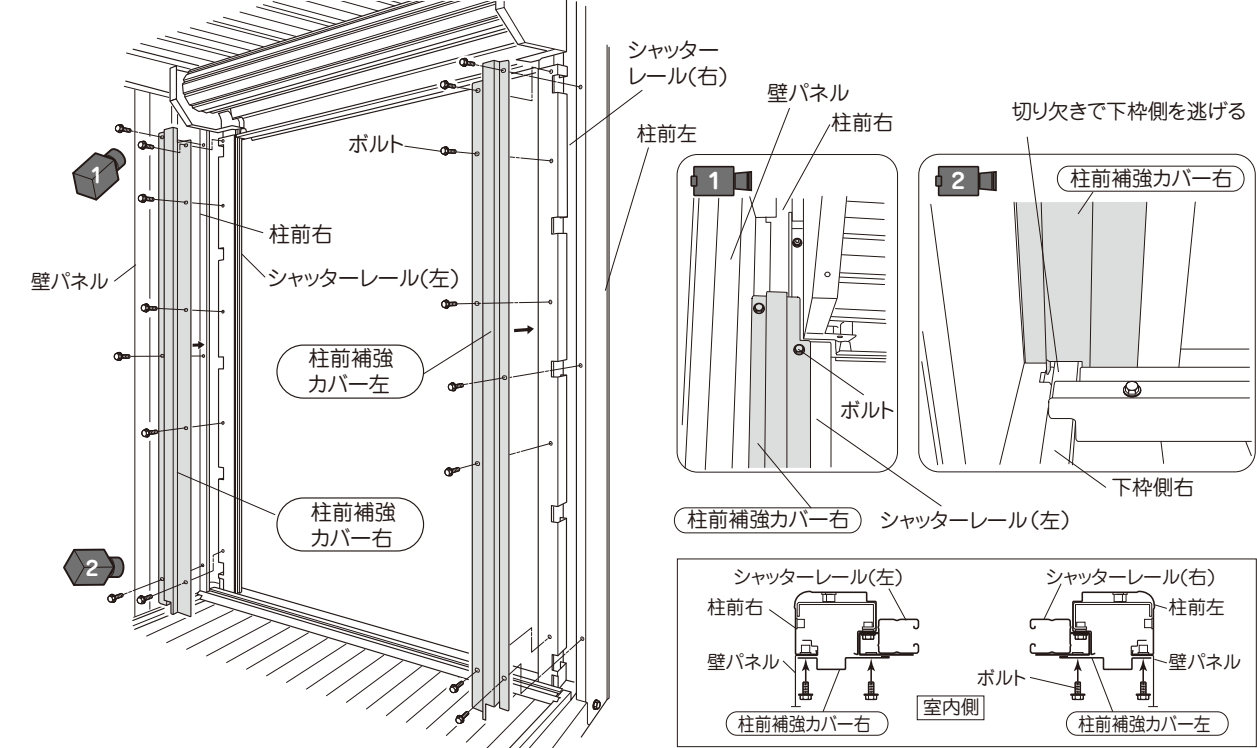
18 シャッターレールの取付け

- ① スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
- ② (シャッターレール)の上部(つぶし加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。**1**
- ※シャッターレール(左)に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。



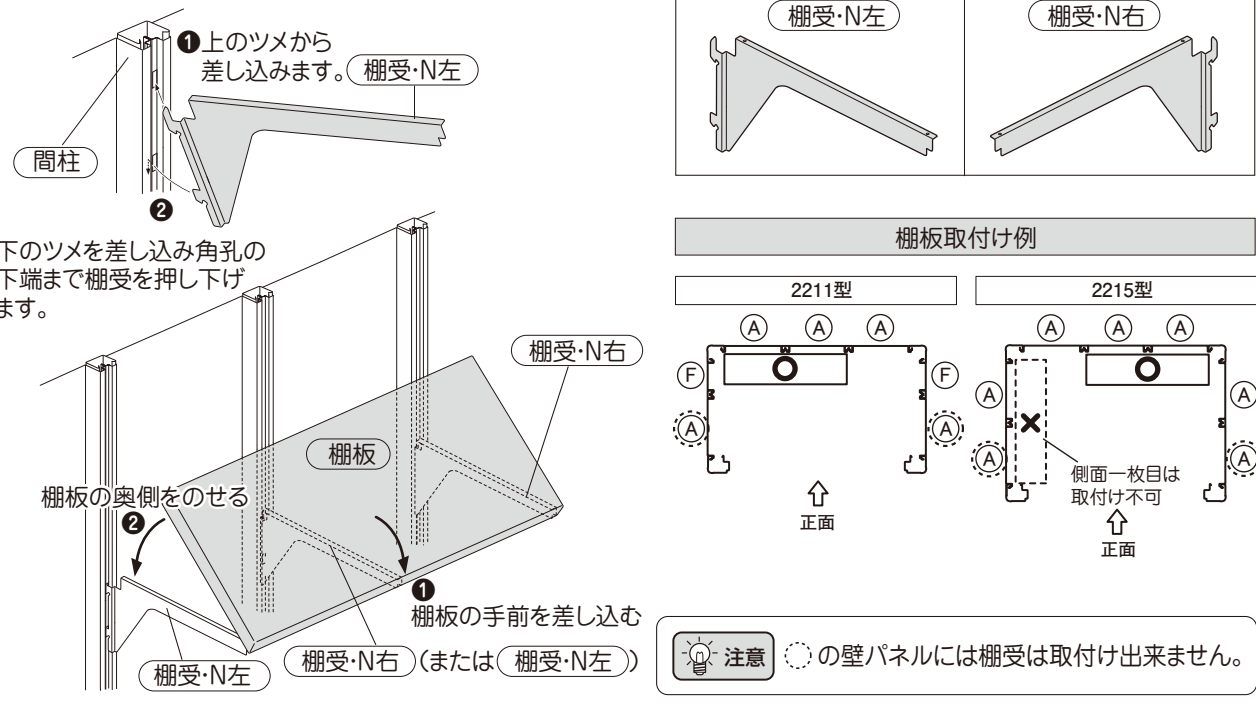
19 柱前補強カバーの取付け

- ① (柱前補強カバー左右)を柱前とシャッターレールに下図のようにかがせてボルト止めします。



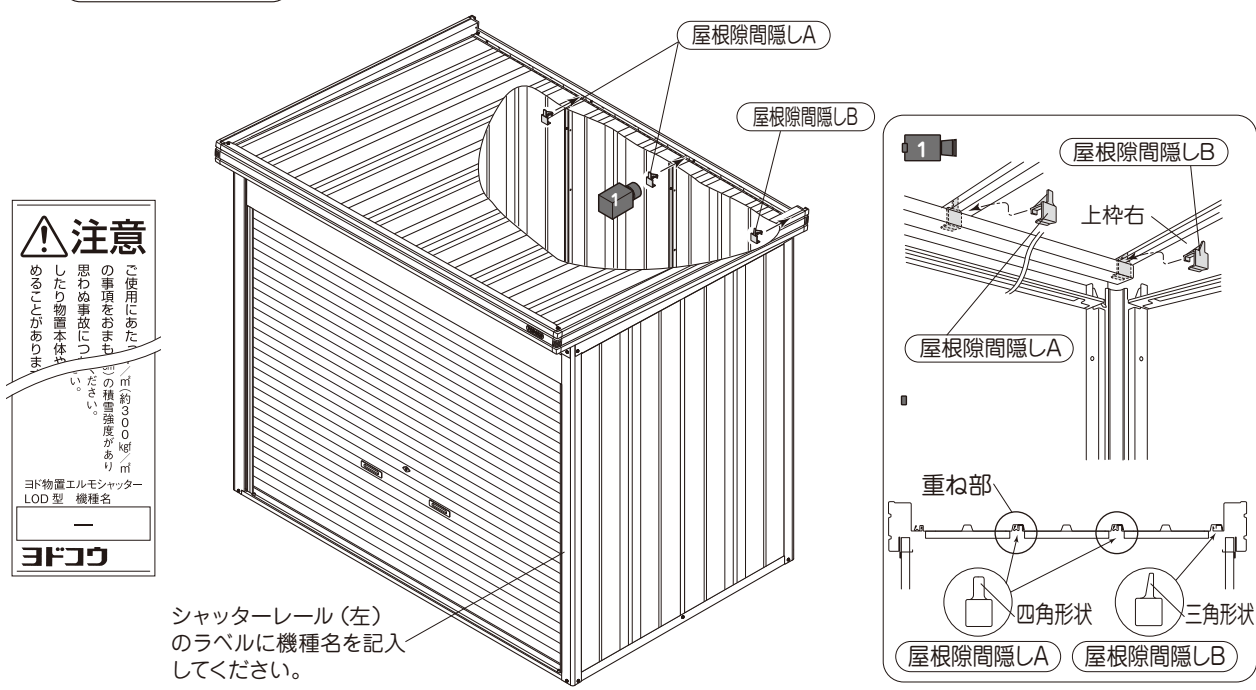
20 棚板の取付け

- ① (棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② (棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。
(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



21 その他部品の取付け

- ① シャッターレール(左)の注意ラベルに`機種名`を記入します。
- ② (屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**



組立てチェック

- 組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。
- ① シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。
- ② 鍵が正常に作動するかご確認ください。
- ③ 棚板の配置確認をしてください。
- ④ 機種名が記入されたか確認してください。
(シャッターレール裏面の注意・警告ラベル)
- ⑤ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。
- ⑥ 施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡ししたか確認してください。

MEMO

チェック欄

シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。	
鍵が正常に作動するかご確認ください。	
棚板の配置確認をしてください。	
機種名が記入されたか確認してください。 (シャッターレール裏面の注意・警告ラベル)	
ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。	
施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡ししたか確認してください。	

お客様へ シャッターピン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

(L00)U-2211HF-2215HF

三井物産

三井物産

(2020年A制作)